



将来にわたって
健全財政を保ち続けるまち



美濃加茂市の中期財政見通し

4月1日号の「広報みのかも」でお知らせしましたように、平成21年度予算では、厳しい財政状況のもとで多くの課題があるものの、「ピンチ」を「チャンス」に変える工夫が必要であると申し上げました。こうした状況の中、今回のこの財政見通しは、平成21年度の予算を基本として、平成25年度までの財政の枠組みを公表するものです。今後、市民の皆さんや議会のご提言などいただきながら、健全財政に努めていきますが、見直す場合には、その都度お知らせをしていきます。市民の皆さん！より効率的な行政サービスを行いますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

美濃加茂市長 渡辺 直由

◆財政見通し(平成21年4月現在)

【単位：百万円】

		平成 21 年度 (当初予算)	平成 22 年度	平成 23 度	平成 24 年度	平成 25 年度
歳入	市 税	8, 1 9 0	8, 2 6 2	8, 3 3 1	8, 2 2 4	8, 2 9 6
	地方交付税等	2, 6 1 1	2, 6 8 4	2, 7 0 4	2, 7 9 7	2, 7 6 7
	国・県支出金	1, 7 3 9	2, 6 8 3	2, 5 1 2	2, 0 5 6	2, 0 1 0
	繰 入 金	9 5 1	0	0	0	0
	市 債	1, 1 1 9	1, 5 9 9	1, 3 8 1	9 9 0	9 4 0
	そ の 他	1, 7 5 0	1, 6 8 1	1, 6 8 1	1, 6 8 8	1, 6 9 0
	合 計	1 6, 3 6 0	1 6, 9 0 9	1 6, 6 0 9	1 5, 7 5 5	1 5, 7 0 3
歳出	人 件 費	2, 7 0 9	2, 7 0 3	2, 6 3 8	2, 5 5 9	2, 4 1 4
	扶 助 費	2, 1 7 1	2, 1 9 0	2, 2 1 0	2, 2 3 0	2, 2 5 0
	補 助 費	2, 4 5 5	2, 4 7 0	2, 4 1 6	2, 4 1 6	2, 3 5 9
	公 債 費	1, 9 9 3	2, 0 8 7	2, 1 5 2	2, 2 0 7	2, 0 1 1
	繰 出 金	2, 6 3 0	2, 5 4 2	2, 5 1 9	2, 5 3 4	2, 5 3 5
	投 資 的 経 費	1, 4 7 9	2, 8 4 0	2, 3 6 0	1, 4 0 0	1, 4 0 0
	一般行政経費等	2, 9 2 3	2, 7 3 7	2, 6 5 8	2, 5 9 0	2, 5 4 6
	合 計	1 6, 3 6 0	1 7, 5 6 9	1 6, 9 5 3	1 5, 9 3 6	1 5, 5 1 5
収 支(歳入－歳出)		0	△ 6 6 0	△ 3 4 4	△ 1 8 1	1 8 8

← 収支不足額 約11億8千5百万円 →

収支不足額は
約11億8千5百万円

平成21年度予算の歳入は、中心となる市税が、平成20年度決算額(約88億7千3百万円)から大幅に落ち込むと予測しています。特に、法人市民税は、世界経済の影響を受けるなど、将来の収入見込みも極めて不確実となっており、今後とも急激な収入増加は見込めない状況にあります。

歳出では、少子高齢化による扶助費(老人・児童福祉などに必要な経費)や公債費(借金の返済に充てられる経費)が上昇します。また、多くの市債(借金)の残高を抱えるなど、過去に経験したことのない状況にあります。

こうした中、平成24年度までの収支不足額(赤字)は、約11億8千5百万円(累計)と予測され、各年度で不足する財源(収支不足額)は、積立基金(貯金)を取り崩して対応することになります。

このように、平成24年度までは厳しい財政状況が続くと予測されますが、人件費、公債費の減少が見込まれる平成25年度以降は、貯金に頼ることのない財政運営を目指していきます。